

令和4年度 第4回旭川市社会教育委員会議 議事録

日時	令和5年2月17日（金）午後6時30分～8時
場所	旭川市神楽公民館 講座室
出席者（委員）	岩永委員，大橋委員，工藤委員，佐々木委員，佐藤委員， 佐野委員，三条委員，鈴木委員，中村委員，猫山委員， 濱中委員，森峰委員
出席者（職員）	高田社会教育部長，岩崎社会教育部次長，谷口社会教育部次長， 吉田社会教育部次長，松里文化ホール担当課長，西野中央図書館 長，石原博物館長，小島社会教育課主幹，中田科学館主幹，山崎 文化振興課長補佐，村椿社会教育課長補佐，川瀬社会教育課主査
公開・非公開の別	公開
傍聴者	なし
会議資料	第4回会議次第 資料1 令和5年度教育予算（案）社会教育部関係分について 資料2 令和4年度社会教育関係団体への補助金交付に係る中間 報告と令和5年度の予定について 資料3 旭川市社会教育基本計画 改定版（案） 資料4 旭川市民文化会館の整備の方向性について

会議要旨

1 開会

2 議事

(1) 令和5年度教育予算（案）社会教育部関係について

議長	はじめに，令和5年度教育予算（案）社会教育部関係につ いて，事務局から説明してください。
事務局	（資料1に基づき説明）
議長	ただ今の説明について，何か意見・質問はありますか。
委員	予算総括表の中で，01目の社会教育総務費が，前年度から 概ね半減しているようですが，その理由は何でしょうか。
社会教育課長	今年度，アイヌ政策推進交付金を活用し，川村カ子トアイ ヌ記念館の建物に対しての補助金を行っていましたが，来年 度建築が終わり，建物ができるということで，その補助金が 減ったことが要因の大きなものです。
委員	公民館事業活動費が，前年度から183万2千円減額，概ね 28%の減額ですが，これから協議されるだろう，例えば，市

	<p>民の学習機会を増やすといったことに使われる予算かと思っ ての質問ですが、3割近く減額した理由は何でしょうか。</p>
公民館事業課長	<p>令和4年度の公民館事業活動費について、フリーWi-Fiを整 備する予算がついていたものが、令和5年度にその分がなく なっています。</p> <p>また、令和5年度に増えたものとして、学習用パソコンの リース予算がついていますが、その差引き分が減額という形 になっています。</p> <p>基本的な公民館の事業を行うための講師の謝礼等は、今年 度も来年度も変わっていないという状況です。</p>
議長	<p>重ねて公民館に質問ですが、公民館補修費も大分減額にな っていますが、かなり老朽化してきていると思いますが、減 額の理由を教えてください。</p>
公民館事業課長	<p>確かに老朽化していますが、通常の公民館の修繕、例えば 水道やトイレが壊れた場合は、公民館管理費という別の費目 で行っています。</p> <p>一方、公民館補修費については、主に大きな工事のものが 対象となっています。令和5年度の予算で言うと、神楽公民 館の敷地内にある音楽の建物「木楽輪」の屋根が昨年度雨漏 りし、今年は応急措置として、その部分だけを直しまし たが、全体的に年数が経っていて、屋根の状態が悪いので、令 和5年度予算で屋根を葺き替える、本格的な改修を行いま す。</p> <p>この補修費については、大きな工事を行うことから、工事 の内容によって金額が大きく変わる部分であり、年度によっ て金額にばらつきがあります。</p>

(2) 令和4年度社会教育関係団体への補助金交付に係る中間報告と令和5年度の予定に
ついて

議長	<p>議事(2) 令和4年度社会教育関係団体への補助金交付に 係る中間報告と令和5年度の予定について、事務局から説明 してください。</p>
事務局	<p>(資料2に基づき説明)</p>
議長	<p>ただ今の説明について、何か意見・質問はありますか。</p>
委員	<p>4ページの優佳良織伝承の会について、これは具体的にど のようなものに予算は使われていますか。</p>
文化振興課長補	<p>優佳良織の優佳良織工芸館が閉鎖になった後、優佳良織の</p>

佐	技術を残したいという市民の団体があり、その方たちが優佳良織伝承の会というものを立ち上げ、織子ですとか染めですとか、そういった技術を引き継ぐ方が3名ほどいて、その方たちが残っている系などを活用し、優佳良織の製品を日々作っている、そういった団体に対し、運営の補助金を720万円交付しているという内容です。
委員	例えば、できあがった製品、作品の販売費用というのは、販売をしているわけではないんですね。
文化振興課長補佐	あくまでも、技術を伝えていく上でのことで、そういった活動に対しての補助になります。
委員	そうですか、3名にしてはちょっと金額が大きいなと思ったものですから。

(3) 旭川市社会教育基本計画の中間見直しについて

議長	議事（3）旭川市社会教育基本計画の中間見直しについて、事務局から説明してください。
事務局	（資料3に基づき説明）
議長	<p>今年度このことに関して、本会議で繰り返し皆さんから意見をいただき練ってきたことが、よく盛り込まれていると私は拝見しました。これだけの努力、大変だったんじゃないかなと率直な感想を持っていますが、さて、皆さん意見等ありますか。</p> <p>大体は今回の会議をもって、後は教育委員会会議にかける形になります。もし、皆さんから意見があれば、再度検討する必要は出てくると思いますが、再度会議を開いて、また検討・議論を重ねるといった形にはならないかと思えます。意見いただいたことを、最小限の形で還元してもらい、教育委員会会議に持って行ってもらう形になります。</p> <p>まず事務局からは、5・6ページのところが、なぜ中間見直しをしたのかを書いてあるので、意見等をいただければという話でした。これについても、今まで1回目、2回目の会議で繰り返し説明されてきたところです。そして、昨年度の社会教育委員会会議でも、この評価、反省、これではまだ不十分ですねという話を受けて、今回、見直しの方向性を決めたと。さらには、次期の計画と言いますか、それに向けて橋をつなぐ、そういう意味合いも大きくあると思えます。</p> <p>何か意見・質問はありますか。</p>

委員	<p>意見ではなく感想でも良いですか。</p> <p>元の古いものに比べると、実に整頓され、整合性があるし、すごくわかりやすく、前はどちらかというと網羅的でしたが、こうやって見て、説明も素晴らしかったですが、すごく内容がわかりやすく整頓され、評価と目標がうまく整合性がしっかり関係づけられ、素晴らしい評価になったと思います。</p> <p>新しい、良い中間見直しということで、かなり成果が見込まれるのではないかという印象をすごく受けました。</p> <p>こういう素晴らしいものができたので、今後、評価のための評価にならないようにということで、生きた声を実際の施策の中に反映していくということが、これから大事になるのではないかと思います。</p> <p>私が踏み込むことではないですが、きっとこれが、教育委員会の自己評価シート、目標シートを作り、教職員評価、職員評価を行っていると思いますが、これもこの形のこの目標が職員評価の中にも生かされ、実際に運営に当たる方々も、次の次ということをどんどん色々進めていく一つの手立てになるような、そんなものができたという風に、私は素晴らしいなという感想を持ちました。</p>
議長	<p>良い評価をいただきました。</p> <p>そのほか、感想でもかまいません。</p> <p>今年度は、これを中心に会議を重ねてきたと言っても過言ではありませんね。</p>
委員	<p>非常に立派なものができたと思います。</p> <p>ただ、点検評価方法の改善ということで、すべての参加者・利用者を実施するのではなく、抽出してとのことのようです。</p> <p>その場合、色々なテレビでも、政党支持率ですとか、色々なことが、2千人ぐらいを対象にして、そして回答が5割か6割ぐらいで、そういった話で報道されているケースが多いですけれども、国民的な割合だと、本当に一部の評価という形になっていると思います。</p> <p>この部分については、そういったことがどの程度なるほどとなるような、そういったものが現れるのかがちょっとわかりません。</p>

	<p>ただ、やった結果、こういうことの経過を見せてもらえれば、これについてまた意見を述べる機会があるのかな、そのように思っています。</p> <p>人の変容というのは、アンケートで、それをこちらでどのようなことかというのは非常に難しい。それを数値にするとなるとなおさら難しいと思いますので、事務局が考えたこの方法を一度見せてもらった上で、また意見を述べる機会があるならと、そのように思います。</p>
社会教育課主幹	<p>仰いましたとおりで、抽出をすると母数が少なくなるので、その分精度が落ちるということは、その通りだと思っています。</p> <p>そこにつきましては、まずできるところからやっていきながら、少しずつ増やしていくですとか、毎年度の点検評価を行う中で、また委員の皆様から意見等をいただきますので、その時に市民の見取りについて、そうじゃないんじゃないかといった意見をいただいたり、また次年度の項目を設定するときに修正していただくとか、そういったことで市民の声に近づけるような形で修正できればと考えています。</p>
議長	<p>我々の役割も、しっかりと果たしていかなければならないということですね。</p>
委員	<p>私が社会教育主事等に携わっていた時は、まだ若かったからですが、予算がたくさん増えた・減った、人数が増えた・減ったということに一喜一憂していた時もありました。</p> <p>私も社会教育事業というか、講座にはよく参加していて、皆さんそれぞれ色々な考えをもって参加していますし、金額とか量だけで無く、中の質というか、参加者が持っている考え方、もっとこういうふうにしてほしいとか、今度はこういうのにも参加したいとか、そういう項目がアンケートにもあるんですが、そういった、今年人数が増えたから良かったとか、それだけの問題では無く、奥にある声が聞こえてと、声に出しているんですけども、そういうものも考えながら、少ないからもう駄目だとか、そういう簡単なことには行かずに、市民の気持ちをくみ取りながら、その人数が多くなったから成功ですよ、この講座は駄目ですよということに決められないと思います。</p> <p>そういうことも含めて、人間的なというか、そういうとこ</p>

	<p>ろも考えながら、ただ中間見直しでこんなことを言ってもあれなんですけれども、いろいろな項目が多いなという気がして、あれもします、これもします、という風になって、がんばりますということなのですが、やはり評価に終わってはいけないというのは先ほども仰ってましたけれど、どうしたい、どうやっていきたいんだというところを、ぶれないようにしながら、奥にあるものというか、そういうことも考えながらやっていくことが大事ではないかなと感じました。</p>
社会教育課主幹	<p>人数については、昨年度の社会教育委員会議でも、コロナで減ったからその事業が駄目なわけではないよね、という意見をいただき、そういった人数以外のことでも評価できないと駄目ではないかという指摘もいただいていますので、そういうことでも活用していきたいと思えますし、実はここに項目がたくさんあるんですが、それぞれの課・施設の事業で、その事業の目的がどこなのか、そこだけをその事業は取るという形で考えています。</p> <p>例えば、私が担当しています「地域学校協働活動」の事業で考えますと、一番は基本目標3のところ为中心になってきますので、2の環境整備や4の文化というところは、まずは中心にしないので、そちらについては評価を少なくと言うか、ほとんどなくなり、その事業では基本目標3だけをやっていくというような形で、それぞれの事業の目的・目標に応じて、社会教育基本計画の今の指標等を取っていきたくと思っていますので、先ほども説明しましたが、各課・施設で自分たちの事業を見直しながら、まずはできるところというところから設定していますので、やっていきながら、また変更することはあると思いますが、まずはやってみて、また点検評価をしていきたいと考えています。</p>
委員	<p>私は、冬の講座にもよく参加するのですが、同じような講座が、同じような時期、同じ日に開催ということが結構あって、どちらに行こうかなといったことがあります。</p> <p>色々な施設できっと話し合っていると思いますが、関連のイベントの調整もしているのだろうかと思うときがありますがどうでしょうか。</p>
社会教育課主幹	<p>施設で行っていることもあると思いますが、そう思っているということは、できていないところがあるということだと</p>

	<p>思います。</p> <p>社会教育委員会議の中でも、施設間の連携をもっとしたほうが良いのではという指摘もありましたので、今後はより一層、施設間で事業の日程調整や連携ができないか、そういったことも考えていきたいと思っています。</p>
議長	<p>旭川は、他の市町村と比べると規模が違いますから、色々な面で、地域のこともありますし、人の数もありますし、小さな町であれば、ここでやってること、なんでという話かもしれませんが。</p> <p>後は、社会教育委員会議の中でも出ていましたが、成果指標というのを見取るのは本当に難しいことなので、とりあえずやってみて、そしてみんなでこれで良いのかという辺りを考えていくしかないのかなと思います。まずは踏み出す、スターティングブロックができたということですね。</p> <p>他に意見が無いようなので、このことについては、教育委員会会議にかけてもらえればと思います。</p>

(4) その他

ア 旭川市民文化会館の整備の方向性について

議長	<p>議事(4)ア 旭川市民文化会館の在り方検討について、事務局から説明してください。</p>
事務局	<p>(資料4に基づき説明)</p>
議長	<p>基本構想として取りまとめる、その取りまとめの目処は立っているのでしょうか。</p>
文化ホール担当 課長	<p>基本構想につきましては、施設の主な機能や規模の目安、設置場所の比較検討、そういった基本的な考え方を整理するものになっており、基本構想については来年度中に取りまとめるということで考えています。</p>
委員	<p>建物をお金をかけて建てる、70年、80年、孫の代まで保たせて、100億円を要すると言っていましたが、車の駐車場についてわかっている範囲で聞かせてください。</p>
文化ホール担当 課長	<p>具体的な建替えの場合の、設置場所・駐車場も含めて、検討はこれからになりますが、現状の文化会館で言うと、専用の駐車場が無いということで、総合庁舎の地下の駐車場や民間の駐車場を活用してもらおうということで、利用者向けの駐車場が無い状況です。</p> <p>また、主催者側の搬入車両の駐車場所についても狭いとい</p>

	<p>った課題がありますので、次年度以降、整備に向けて検討する中で、使い勝手の部分、駐車スペース、搬入車両のスペース、そういったところについてどうなのかというところも含めて検討していく形になろうかと思えます。</p> <p>駐車場については、敷地面積がかなり違いますので、公共交通機関の利便性、そういったことも含め考えていく必要があると思っています。</p>
議長	<p>まだまだこれからということですね。</p> <p>市民の関心がとても高いし、お金はかかるし、大変なことだと思いますが、どうかよろしくお願いします。</p>

3 その他

4 閉会